

一般社団法人 日本写真測量学会関西支部
『第 12 回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』開催報告

日本写真測量学会関西支部では、平成 28 年 9 月 16 日（金）に、常翔学園・大阪センター（大阪市北区梅田）にて『第 12 回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』を開催した。本発表会は、若手技術者・研究者が発表や意見交換を通じ、研究を進展させていくことを目的としている。関西地区の大学や企業から学生 14 名、社会人 5 名の計 19 名と、過去最多の発表者数であった。修士論文が発展していく時期でもある 9 月に開催したことで、多くの学生の参加を集めた。

今回は、発表内容を考慮して、「都市環境」「景観分析」「計測・推定」「まちづくり①」「まちづくり②」というセッションが設けられた。萌芽段階や成熟段階など研究の進展状況も様々で、研究の基本方針や今後の進め方、発表内容の構成に関する質問や助言が見受けられた。発表者にとっては、普段とは異なる視点に接して有益な機会となったようであった。

本発表会では、当日参加した本支部役員の採点に基づき、以下に記す 1 名に最優秀発表賞を、4 名に優秀発表賞を授与した。なお、次々頁以降に全発表の要旨および最優秀、優秀発表賞の概要を記す。受賞者は発表会後の懇親会において表彰を受けた。ここに記してお祝い申し上げる。

本支部では、来年度以降も同様の技術発表会を継続していく予定である。支部役員一同、多くの若手技術者・研究者の参加をお待ち申し上げる。

最優秀発表賞

前田 直也（京都大学大学院）「DInSAR による地盤変動推定精度の向上を目的とした可降水量推定」

優秀発表賞

丸尾 尚之（京都大学大学院）「差分干渉 SAR 解析を用いた地盤沈下に伴う建造物の抜け上がり検知手法の開発」

松田 優花（摂南大学大学院）「植生分布の空間特性の観点からの都市構造分析の試み」

宮垣 亮汰（京都大学大学院）「GCOM-C/SGLI プロダクトに向けた BRDF モデルを用いた陸域アルベドの推定アルゴリズムの検証」

酒井 拓実（大阪工業大学大学院）「3次元空間を考慮した認知空間の歪みと空間要素」



受賞者。左から前田氏、丸尾氏、松田氏、柳川関西支部長、宮垣氏、酒井氏



発表会の様子



発表会の様子